

謹賀新年

12月3日 火之神公園

新年明けまして

おめでとうございませう

平成二十六年(二〇一四年)が

いい年でありますように

皆様のご健勝、ご多幸、

ご活躍を心からお祈りします

枕崎市長

昨年も「枕崎これに有り」という存在感を大いに発揮できた一年でした。

「駅舎建設」は、建設資金のほとんどを市民中心の寄附で賄ったという意味で「世界にひとつの駅」という評価を戴き、権威あるグッドデザイン賞も獲得、周辺整備も相俟ち、リュックを背負ったカニ族(旅行者)も増えています。周辺整備は、去年から来年までの3カ年連続で、県の「魅力ある観光地づくり事業」として継続されます。つまり県との連携もしつかりとできていま

す。完成の暁には、見違えるような景観が表れる筈です。

「空港閉鎖とメガソーラー誘致」も新聞、テレビ等で全国的に流されました。東京での記者会見には、20人を超す報道関係者が集まり、その日のうちに報道されたらしく、夜中には枕崎出身者から、勇断を称えるメールが届きました。

空港は財政難の一因になっており、建設費は別にして、維持費だけでも約8億7千万円の累計赤字を出していましたが、今後、赤字が生じることが無く

なっただばかりか、メガソーラー事業の実施会社からは市関係に対して20年間に17億円程度の収入が見込めます。

そして、近くには小規模ながら、天文観測所が設置されます。なお、防災ヘリコプターはそのまま残ります。

「柳田孝子抒情歌コンサートin枕崎」もさほど目立たない乍らも、文化面から枕崎の存在感を高めました。市の自主文化事業として開催しましたが、大好評を戴きました。

柳田さんはカナダトロント在住のオペラ歌手ですが、私の友人の紹介で枕崎でのコンサート開催となり、日本の抒情歌と専門のオペラを披露されました。

曲の合間の語り以外はマイクを一切使わない流石の声量と歌声に、観客は圧倒され、聞き惚れ、見入っていました。全国各地からの観客の他に、カナダからのファンもおいでになっていたほどでした。コンサート終了後、会場を後にされる多くの方から「地方の都市でこんな格調高いコンサートに出会って大変感動した。枕崎が好きになった。

是非是非また開いてください」とのお言葉を戴きました。

なお、柳田さんは枕崎の紅茶、緑茶の大ファンになり、カナダの友人たちにも振る舞っているとのこと。

全国から選抜された小学生たちによる全国小学生集団行動大会に枕崎小学校の6年生が出場しました。日本体育大学の集団行動についてはご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、その小学生版です。11月24日、横浜市で大会があり、出場した児童たちは息の合った素晴らしい動きを見せてくれました。

大会の結果や詳細については、改めて報告の機会があるかと思えます。

今大会をとおして、枕崎の子どもたちの可能性を全国に示すことができました。

以上、枕崎の存在感を示した例の一部を書きました。

今年も幸多い一年になることを期して一緒に頑張りましょう。